

令和6年能登半島地震における道路等の損傷の把握・対応のための 「AIによる道路損傷検知サービス RoadManager損傷検知」無償試験利用

① ユースケース

- アプリを起動し走行することで、連続した静止画像を撮影できるため、被災前のGoogleストリートビューと比較し現状を把握
- 道路の損傷状況をAIが自動で検知し、人と時間をかけずに効率よく広域の路面損傷状況を把握、復旧の優先順位付けを実施
- 災害復旧事業の査定資料として活用
- 復旧状況の変化を可視化することができるため資料として利用

② 無償提供サービス概要

公用車等にスマホを乗せて走るだけでポットホール、亀甲状ひび割れ等を自動で検出するAI道路損傷検出サービスです



- 対象地域：
 - ・ 新潟県、富山県、石川県及び福井県内の希望する自治体
- 申込受付期間：
 - ・ 令和6年2月1日(木)～令和6年12月31日(火)
- 自治体への支援内容：
 - ・ 1か月間の損傷検知サービス無償利用(損傷検知、連続撮影、手動撮影機能等)
 - ・ WEB管理画面の利用開始日から最大12か月間利用可能
 - ・ スマートフォン、設置用機材(1台)を1か月間無償提供
 - ・ 利用中の運用サポート

◆自治体からのお申込み・お問合せ: My City Report コンソーシアム事務局(<https://www.mycityreport.jp/>)
対象地域である新潟県、富山県、石川県及び福井県内の自治体のご担当者より、MCRコンソーシアム事務局(mcr-info@aigid.jp)に、
e-mailにてお問い合わせください。折り返し、事務局の担当者から連絡させていただきます。